ドライブ

ユーザ ガイド

初版：2008 年 11 月

製品番号：501592-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

目次

1　ドライブの取り扱い「ハードドライブ」、「オプティカル ドライブ」

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピュータやドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピュータをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

2　オプティカル ドライブの使用

お使いのコンピュータには、データ ディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできるオプティカル ドライブが搭載されています。お使いのコンピュータにブルーレイ ディスク ドライブ（BD ドライブとも呼ばれます）が内蔵されている場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。コンピュータに搭載されているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ **[スタート]→[コンピュータ]**の順に選択します。

お使いのコンピュータにインストールされているオプティカル ドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）

注記： 2 層記録ディスクには、1 層式のディスクよりも多くのデータを保存できます。ただし、これらのドライブで作成された 2 層記録ディスクは、既存の多くの 1 層式 DVD ドライブおよびプレーヤに対応していない場合があります。

- LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）

注記： コンピュータによっては、上記の一部のドライブがサポートされていない場合があります。

オプティカル ディスクの使用

オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）には、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD および BD は、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。お使いのオプティカル ドライブが BD ドライブであれば、ブルーレイ ディスクの読み取りもできます。

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の一覧に示すように、一部のオプティカル ドライブでは、オプティカル ディスクへの書き込みもできます。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD+R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ	可	可	不可	不可
DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可
LightScribe DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	可
ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可

注意： オーディオまたは動画の劣化、情報または再生機能の損失を防ぐため、オプティカル ディスクの読み取りや書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスクの選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD および BD は、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVD および BD のサイズは CD と同じですが、はるかに大きい容量を扱うことができます。

注記： お使いのコンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカル ディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（一度だけ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要のあるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

空の DVD±R ディスクは、大量の情報を永続的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD+RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最適です。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤでの読み取りに

対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク（BD）

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式 BD で 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上です。2 層式の BD では 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の約 6 倍以上です。

通常は、以下の用途で使用します。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生

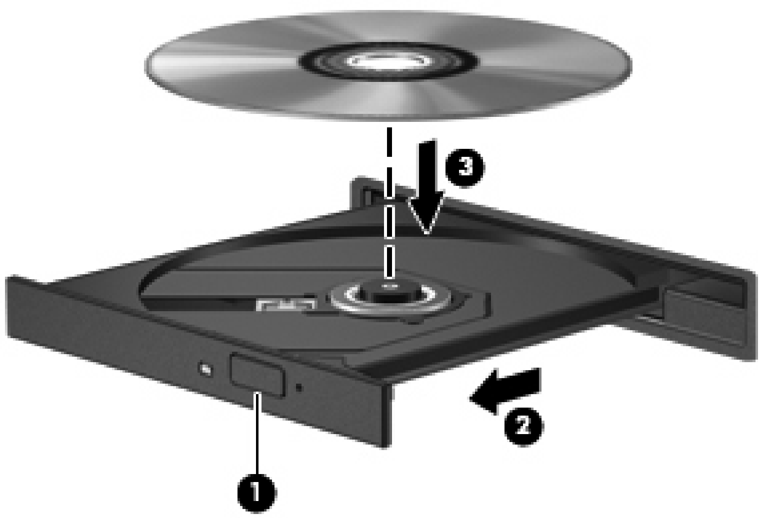
注記： ブルーレイは新技術を搭載した新しいフォーマットであるため、一部のディスク、デジタル接続、互換性、またはパフォーマンスに問題が起こる可能性がありますが、これは欠陥ではありません。すべてのシステム上での完全な再生は保証されていません。

オプティカル ディスクの再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。



6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディアのコンテンツ（内容）をどのように扱うかについての選択を求められます。

自動再生の設定

1. **[スタート] →[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]**の順に選択します。
2. **すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[既定を選択する]**をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類について、使用可能なオプションのどれかを選択します。
4. **[保存]**をクリックします。

注記： 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

DVD の地域設定の変更

著作権で保護されたファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**→**[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   注記： Windows®には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブをクリックして、設定を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインを参考にしてください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。その情報をハードドライブに保存し、次にハードドライブからコピー先のディスクに書き込みます。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピュータに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

CD または DVD のコピー

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink DVD Suite]**（CyberLink DVD スイート）→**[Power2Go]**の順に選択します。
2. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面右下の**[Copy]**（コピー）をクリックします。
4. 指示が表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

   データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

CD または DVD の作成（書き込み）

コンピュータに CD-RW、DVD-RW、または DVD+RW ディスクをサポートするオプティカル ドライブが搭載されている場合、[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、データ、動画、およびオーディオ ファイル（MP3 および WAV 音楽ファイルなど）を書き込むことができます。

CD または DVD を書き込むときには、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、すべてのプログラムを閉じてください。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

注記： [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- 家庭のステレオやカー ステレオの一部には CD-RW を再生しないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイルの形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクの作成プロセスは、データ ファイルの作成プロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD を書き込むには、以下の操作を行います。

1. 書き込み元のファイルをハードドライブ上のフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空のディスクを、オプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。

   注記： サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]**を右クリックしてから**[エクスプローラ]**をクリックし、書き込み元のファイルが保存されているフォルダを表示します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムで指示されているとおりに書き込みプロセスを開始します。

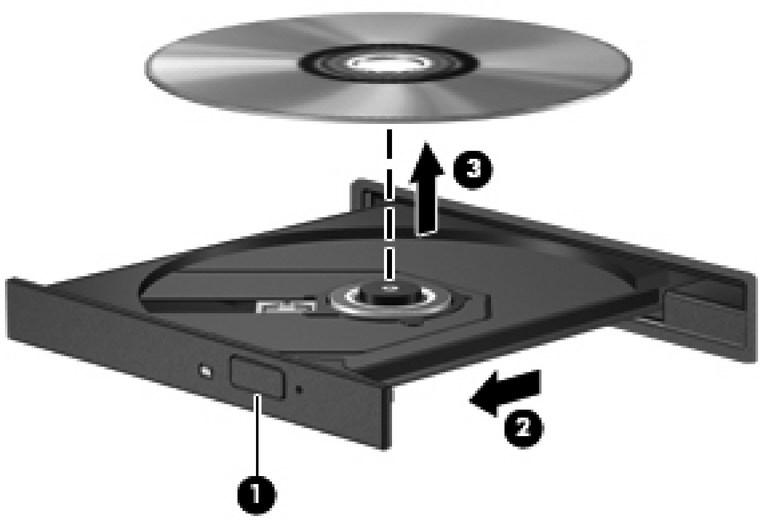
詳しい手順については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

△ **注意：** 著作権に関する警告について確認してください。コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

オプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



3. ディスク トレイを閉じて、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

3　ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルは断片化されていきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

いったんディスク デフラグを開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、ディスク デフラグの完了まで 1 時間以上かかることがあります。夜間やコンピュータにアクセスする必要のない時間帯などに実行されるように設定するとよいでしょう。

少なくとも 1 か月に 1 度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは 1 か月に 1 度実行されるように設定することもできますが、手動でいつでもコンピュータのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

注記：　Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

4 ハードドライブの交換

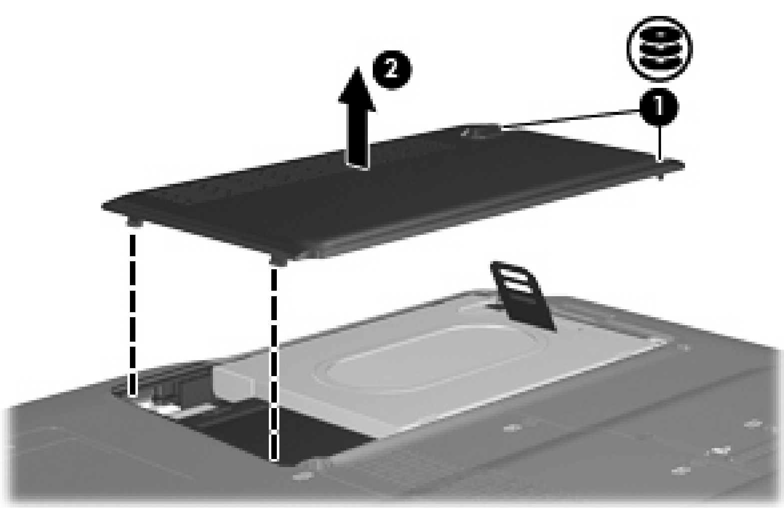
△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐために、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーションのときには、ハードドライブを取り外さないでください。

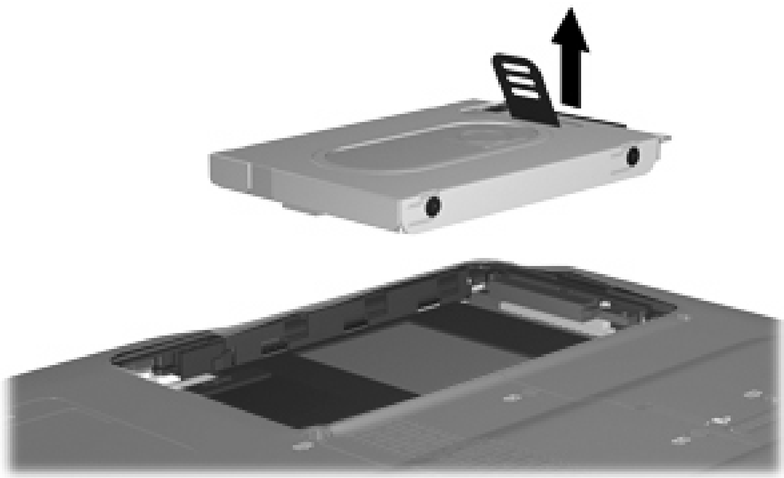
コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピュータの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. コンピュータを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリをコンピュータから取り外します。
7. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。
8. ハードドライブ カバーを取り外します（**2**）。

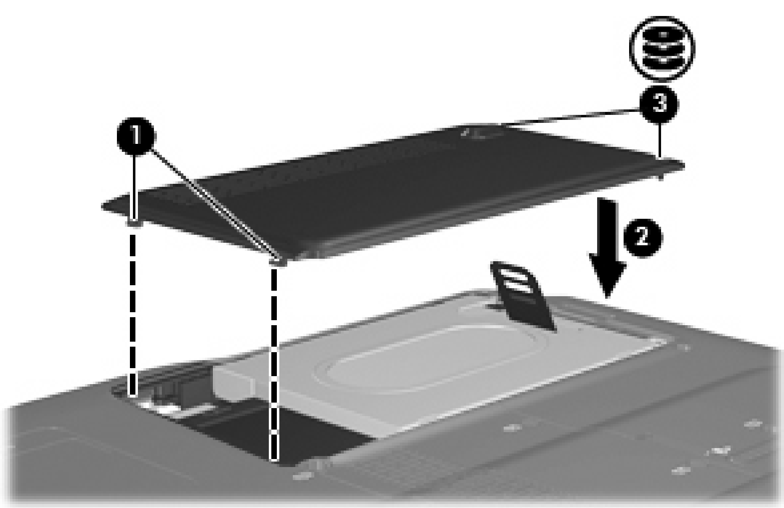


9. ハードドライブ タブをつかみ、ハードドライブを持ち上げてコンピュータから取り出します。



ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブ ベイにハードドライブを挿入します。
2. ハードドライブが確実に収まるまで、ゆっくりと押し込みます。
3. ハードドライブ カバーのタブ（**1**）を、コンピュータのくぼみに合わせます。
4. カバーを閉じます（**2**）。
5. ハードドライブ カバーのネジ（**3**）を締めます。



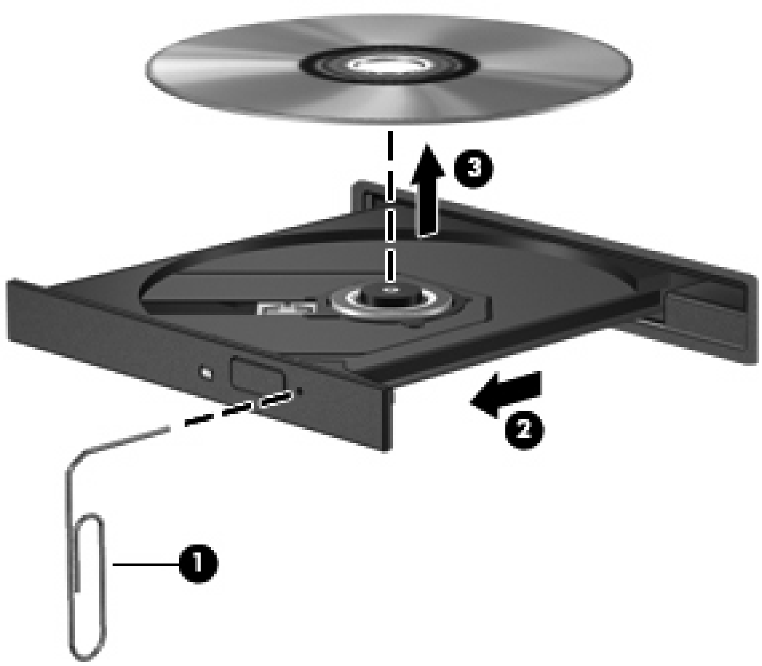
5　トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記：　トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



4. ディスク トレイを閉じて、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャ]を使用してデバイスの問題を解決し、デバイス ドライバを更新するか、アンインストールするか、無効にします。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[デバイス マネージャ]**の順に選択します。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、[続行]をクリックします。
3. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。

注記： ドライブが表示されていない場合は、説明に沿ってデバイス ドライバをインストール（または再インストール）します。このセクションの「デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合」を参照してください。

4. オプティカル ドライブの一覧を右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
   - ドライバを更新します。
   - デバイスを無効にします。
   - デバイスをアンインストールします。
   - ハードウェアの変更をスキャンします。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要な初期設定のドライバをインストールします。
   - デバイスが正しく動作しているかどうかを確認するには、**[プロパティ]**をクリックします。
     - 問題を解決するには、**[トラブルシューティング]**をクリックします。
     - デバイスのドライバを更新、無効化、またはアンインストールするには、**[ドライバ]**タブをクリックします。

     注記： ドライバを更新した後でデバイスに問題が発生した場合は、**[ドライバを元に戻す]**オプションをクリックします。このオプションを使用すると、以前にインストールされたドライバにロールバックします。

ディスクが再生されない場合

- ディスクを再生する前に作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電気店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  ◦ 再生が再開します。

  または

  ◦ マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。

- システムのリソースを増やします。

  ◦ プリンタとスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。

  ◦ デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

    1. デスクトップ上のアイコンを除く任意の場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。

    2. **[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

ディスクが自動再生されない場合

1. **[スタート] →[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]**の順に選択します。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[保存]**をクリックします。

   これで、ディスクをオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。

    1. デスクトップ上のアイコンを除く任意の場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]** の順に選択します。

    2. **[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。
  - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn ＋ f4 を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニタの設定を行います。
   a. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。
   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記： 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- その他のプログラムがすべて閉じられていることを確認します。
- スリープ モードとハイバネーションをオフに切り替えます。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択して、もう一度試します。
- ディスクをコピーする場合は、コピー元のディスクの情報をハードドライブに保存してから、新しいディスクに内容を書き込み、その後でハードドライブから書き込んでください。
- [デバイス マネージャ]ャの[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリに配置されている、ディスク書き込みドライバを再インストールします。

DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

[HP MediaSmart]を使用して DVD を再生してください。[HP MediaSmart]はコンピュータにインストールされています。また、HP の Web サイト、http://www.hp.com/jp/からも入手できます。

デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合

デバイス ドライバを再インストールするには、以下の操作を行います。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[デバイス マネージャ]**の順に選択します。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、[続行]をクリックします。
3. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールおよび再インストールするドライバの種類（DVD/CD-ROM やモデムなど）の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. 表示されているドライバをクリックし、delete キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバを削除することを確認します。ただし、コンピュータは再起動しないでください。削除するその他のすべてのドライバでこの操作を繰り返します。
5. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、ツールバーの**[ハードウェア変更のスキャン]**アイコンをクリックします。Windows は、お使いのシステムから取り付けられているハードウェアをスキャンし、ドライバを必要とするすべてのハードウェアに対して初期設定のドライバをインストールします。

注記： コンピュータを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

6. 必要に応じて[デバイス マネージャ]を再び開き、ドライバが表示されていることをもう一度確認します。
7. デバイスを使用します。

初期設定のデバイス ドライバをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合、以下の項目の手順に沿ってドライバを更新する必要があります。

Microsoft®デバイス ドライバの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバを入手できます。この Windows の機能は、ハードウェア ドライバ、Windows オペレーティング システム、およびその他の Microsoft 製品に関する更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザを開き、http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx を表示します。
2. **[セキュリティ&アップデート]**をクリックします。
3. **[Microsoft Update]**をクリックしてコンピュータのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。

4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザ アカウント コントロールによってメッセージが表示されたら、**[続行]**をクリックします。

5. **[変更する]**をクリックして、[Microsoft Update]で Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品のアップデートを確認する時間を選択します。

6. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

HP デバイス ドライバの入手

HP デバイス ドライバを入手するには、以下のどちらかの操作を行います。

[HP Update Utility]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。

2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックして、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。

3. **[Next]**（次へ）をクリックして HP のソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザを開き、http://www.hp.com/support/を表示します。

2. 国または地域を選択します。

3. [ドライバ＆ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。

4. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

索引